

令和3年度 江戸川区立南葛西第三小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	生きる力を養う ○確かな学力 ○豊かな心 ○健やかな体	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○みんなの個性が輝く学校 ○自分がされてうれしいことができる子供 ○共に高め合い、共感(共汗)し合う教員
前年度までの学校経営上の成果と課題	<p><成果> ○組織的学校運営の充実 ○多様性尊重の取組の充実</p> <p><課題> ○学力向上 ○教員の授業力向上 ○働き方改革の実践的取組</p>		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価	来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題		
いきいまと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習教室による指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・補習教室を年35回実施、外部委託による放課後補習教室30回(全30回)実施。学習に関する意識調査(12月実施)肯定的評価割以上。東京ホームページ全学年向。	・児童意識調査の学習に関する項目の数値向上 ・東京ページリリ学年平均正答率70%以上	B	B	○補習教室14回、放課後補習教室30回(全30回)実施。学習に関する意識調査(12月実施)肯定的評価割以上。東京ホームページ全学年向。 ●1年生以上で正答率70%を下回る結果となっている。	B	・学力向上に向けた取組が計画的に実施されている。家庭との連携により、個に応じたより一層の指導を期待する。
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の充実(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実	・学習計画の選定及び並行読書用図書の充実 ・読書科校内OJT研修年1回及び外部講師による研修3回実施	・図書館を使った調べる学習センターへの参加数の増加 ・児童意識調査の読書に関する項目で数値向上	B	B	○各教科と学校図書館を連動した探究的な学習活動の実施。読書に関する児童意識調査肯定的評価77%(7月と比べ4%向上)。	B	・読書の充実及び高まりを感じる。苦手意識が高い児童への指導や配慮等、今後も取組の継続を希望する。
	体力の向上	・体育の授業や休み時間における全校運動遊びなど主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・チャレンジタイム年間35回実施、長縄大会の実施、持久走記録会の実施	・児童意識調査の運動に関する項目での数値向上	B	B	○瞬発力、俊敏性を高めるチャレンジタイムを35回実施し、運動に関する意識調査で肯定的評価83%。	A	・体力向上の計画的な取組の継続を今後も希望する。
	オリパラ教育の推進	・「オリンピック・パラリンピックグローバル教育実施要領」に基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリパラコーナーの充実	・35時間実施、ともだちプロジェクト外道徳授業を年1回実施、外部講師による授業年3回 ・オバコナー掲示物の充実	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査でわいわい教育に関する項目の数値向上	B	B	○前年度までに招聘したハマスターの出場する種目を学校や家庭でテレビ観戦。保護者アンケートでは肯定的評価8割以上。	B	・今後も取組の継続を希望する。
	外国語教育の推進	・授業力の向上とALTの効果的な活用	・推進リーダーを中心に校内OJT研修を年1回実施、ALTとの打合せ実施	・児童意識調査の外国語教育に関する項目で肯定的評価8割以上、教員アンケートで肯定的評価8割以上	B	B	○ALTとの事前打合せ実施し、授業におけるALTの有効的活用。	B	・今後も取組の継続を希望する。
	健全育成に向けた取組の強化	・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・いじめ防止啓発デー(毎月)の設定、いじめ防止に特化した授業を年3回実施、いじめ防止対策委員会の設置	・児童意識調査で差別に関する項目の数値向上、保護者アンケートで肯定的評価8割以上	A	A	○いじめ防止啓発デーを毎月実施(11回)及びいじめ防止授業全校回実施(6月)により、児童意識調査、保護者アンケート肯定的評価の割以上。	A	・いじめ撲滅に向けた早期対応に取り組んでおり、今後も組織的体制の下、取組を希望する。
特別支援教育の充実	特別支援教育の推進	・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・SC参加の生活指導タスク会の毎週開催、校内研修を年2回実施 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした個別対応会議の開催 ・個別対応ができるエンカレッジルームの計画的運営	・教員アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査で学習に関する項目の数値向上	B	B	○SCに連携した生活指導タスク会37回実施、個別対応会議10回実施し、組織的共有化が図れている。特別支援教育の啓発理解を目的としたHPの立ち上げ(1学年)、児童意識調査肯定的評価8割以上。 SCと連携した校内研修11、2月実施。	B	・学校組織全体で児童理解に努めており、今後も取組の継続を希望する。
	インクルーシブ教育の推進	・特別支援教室やことばの教室との連携による指導の充実	・児童への理解教育を年2回実施	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査で人権に関する項目の数値向上	B	B	○児童への特別支援教室、ことばの教室理解6月、7月実施。児童意識調査及び保護者アンケート肯定的評価8割以上。	B	・特別支援教育への理解や指導が教員及び児童に図られ、今後も取組の充実を期待する。
教員の資質向上	教員研修の充実	・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修	・ICT校内研修を年3回実施、タブレット端末を活用した研究授業年1回実施	・教員アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査で学習に関する項目の数値向上	A	A	○校内研修3回、研究授業1回(9月実施)。teamsを活用した連絡帳での情報共有。タブレットを活用したオンライン授業の実施。	B	・タブレット端末の活用に積極的で、環境整備も含め、取組の継続を希望する。
	授業力向上を目指した研修の充実	・教員の授業力向上に向けた研修	・主任教諭以上及び専門性の高い教員によるOJT研修年14回実施	・教員アンケートで肯定的評価8割以上	A	B	○授業力向上に特化したOJT研修14回実施。若手教員向け勉強会(中堅教員主導)の定期的開催。	B	・今後も取組の継続を希望する。
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	・「小中連携教育構想」及び児童生徒間の交流の充実	・児童意識調査の中學進学に関する項目で肯定的評価9割以上	B	B	○教員間交流を実施(6月)し、情報の共有化が図れた。また、中学の学校紹介DVDを視聴(9月)した。体育大会に向けた交流活動(10月)、合唱コンクールハーモニ鑑賞(10月)実施。	B	・小中連携の交流活動が充実してきている。円滑な小中の接続を期待している。	
	多様性の尊重	・個々の違いを尊重し、差別を許さない指導の徹底及び性別、性的指向、障害などの多様性を尊重する教育活動の充実	・福祉祉柱とした総合的な学習の時間の充実、部活動体験や中学教員による出前授業の実施、小中必読書百選の取組	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上	B	B	○「アラビックのテレビ欄」を実施し、福祉の学習に活用。保護者アンケート肯定的評価7割以上。	B	・諸機関や地域と連携を図り、効果的に取り組んでおり、今後も取組の継続を希望する。
	SDGs教育の推進	・地域の歴史や特色を生かした海洋教育、環境教育の推進	・大学教授やNGO団体メンバー、地域の人材等を講師とした授業を実施	・保護者アンケートで肯定的評価8割以上	B	B	○児童と関連した環境教育を低学年(5月)実施(5月)、墓西臨海及び地球温暖化防止を考える学習を実施。	B	・地域に根差した教育活動に取り組んでおり、今後も取組の継続を希望する。